

リアルに医療崩壊を起こした 大阪の現場から

2021年10月6日（水）

第17回関西グローバルヘルスの集い



地方独立行政法人 大阪市民病院機構

感染症内科 副部長

白野 倫徳

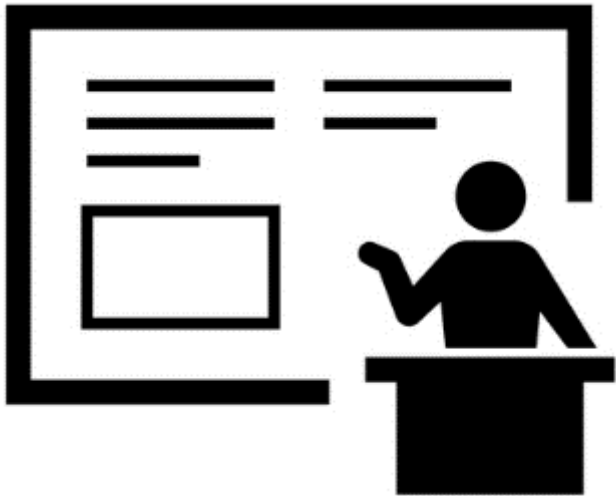
アウトライン

➤ 最近の感染状況と当院の紹介

- ・ 最近の感染状況
- ・ 当院の取り組み

➤ 大阪で医療崩壊が起こったのか

- ・ 第3～5波の大阪府の状況
- ・ 大阪府の取り組み



➤ コロナ禍で浮き彫りとなった 社会問題の解決にむけて

- ・ 基礎疾患/合併症/後遺症
- ・ 生活困窮者
- ・ メンタルヘルス

COVID-19をめぐる最近の主な動き

【Positive】

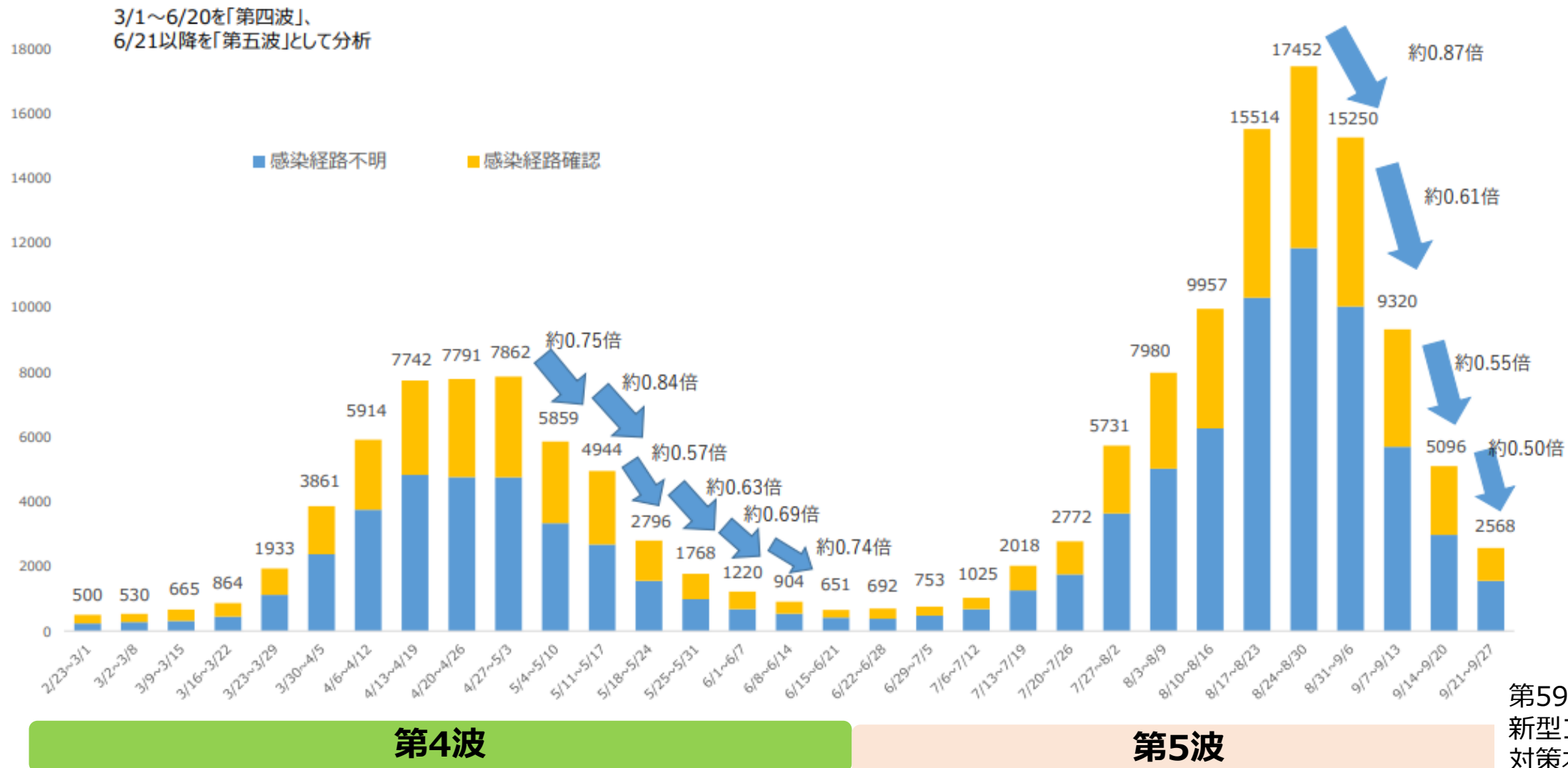
- 抗体カクテル療法など、治療選択肢の増加
- ワクチンの普及による高齢重症者の減少
- 高齢者施設などでのクラスターの減少

【Negative】

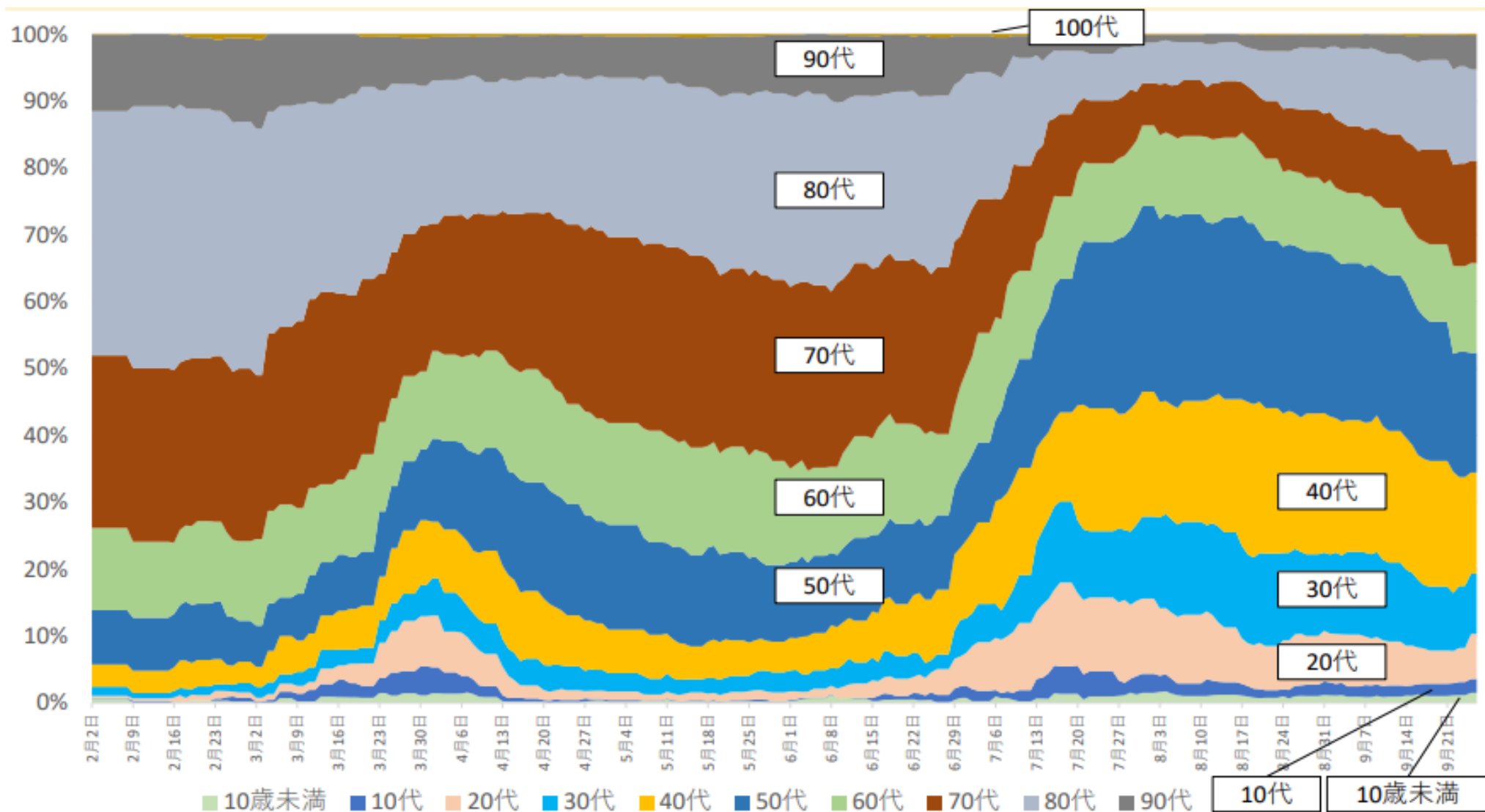
- デルタ株による感染力増大
- 若年層での重症化
- 小児・妊婦の感染者の増加
- 後遺症の問題



大阪府・7日間毎の新規陽性者数（9月27日時点）



軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（大阪府・9月27日時点）



第59回大阪府
新型コロナウイルス
対策本部会議
2021/9/28

当院の紹介

【大阪市立総合医療センター】

- 大阪市中心部に位置する1063床を有する総合病院
- 集中治療センター 40床（スーパーICU28床、HCU12床）
- 第一種・第二種感染症指定医療機関
- 大阪市感染対策支援ネットワーク・北部ブロック幹事病院



救急搬送困難事例が相次ぐ



入院患者待機
ステーション
設置



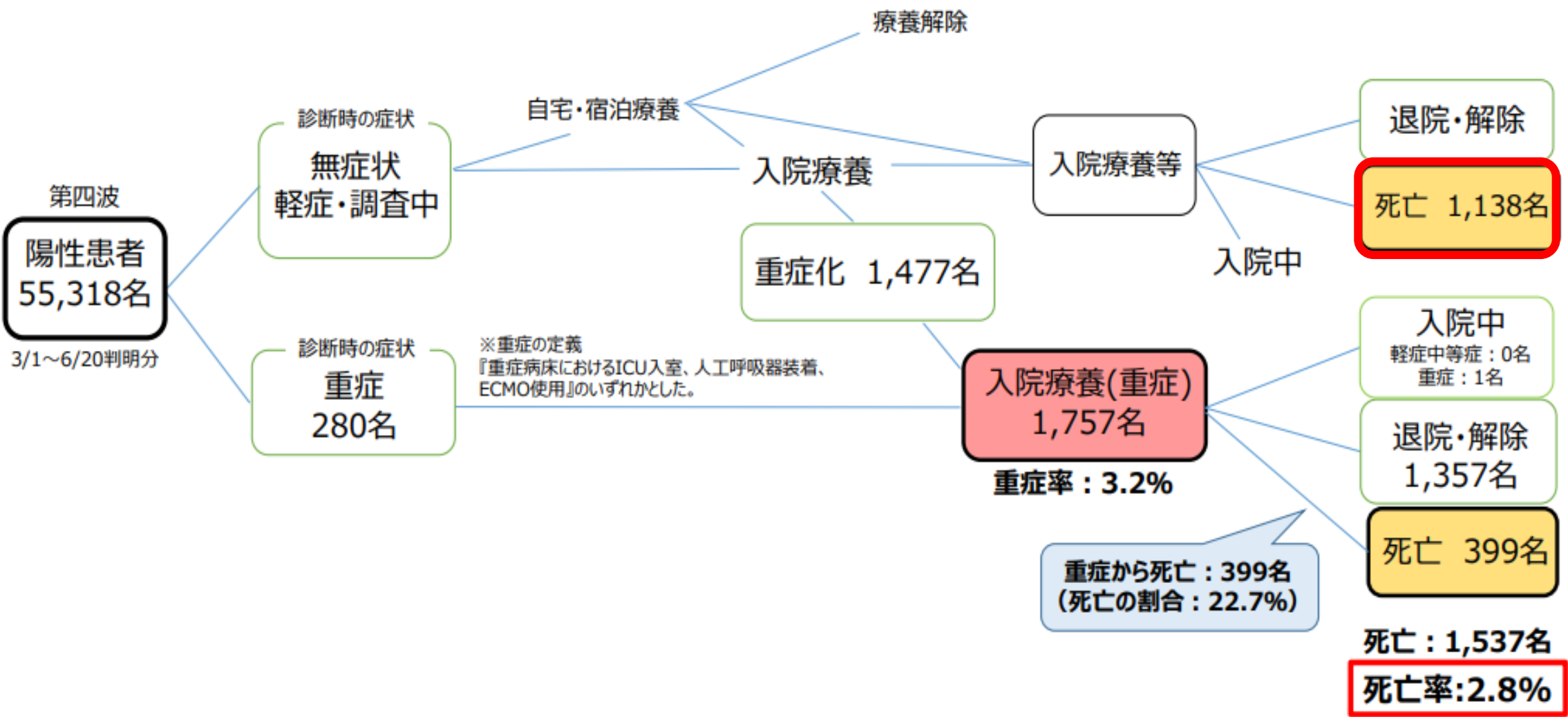
新型コロナウイルス 救急搬送 最長で47時間 大阪
市消防局調べ

2021年4月23日 22時09分

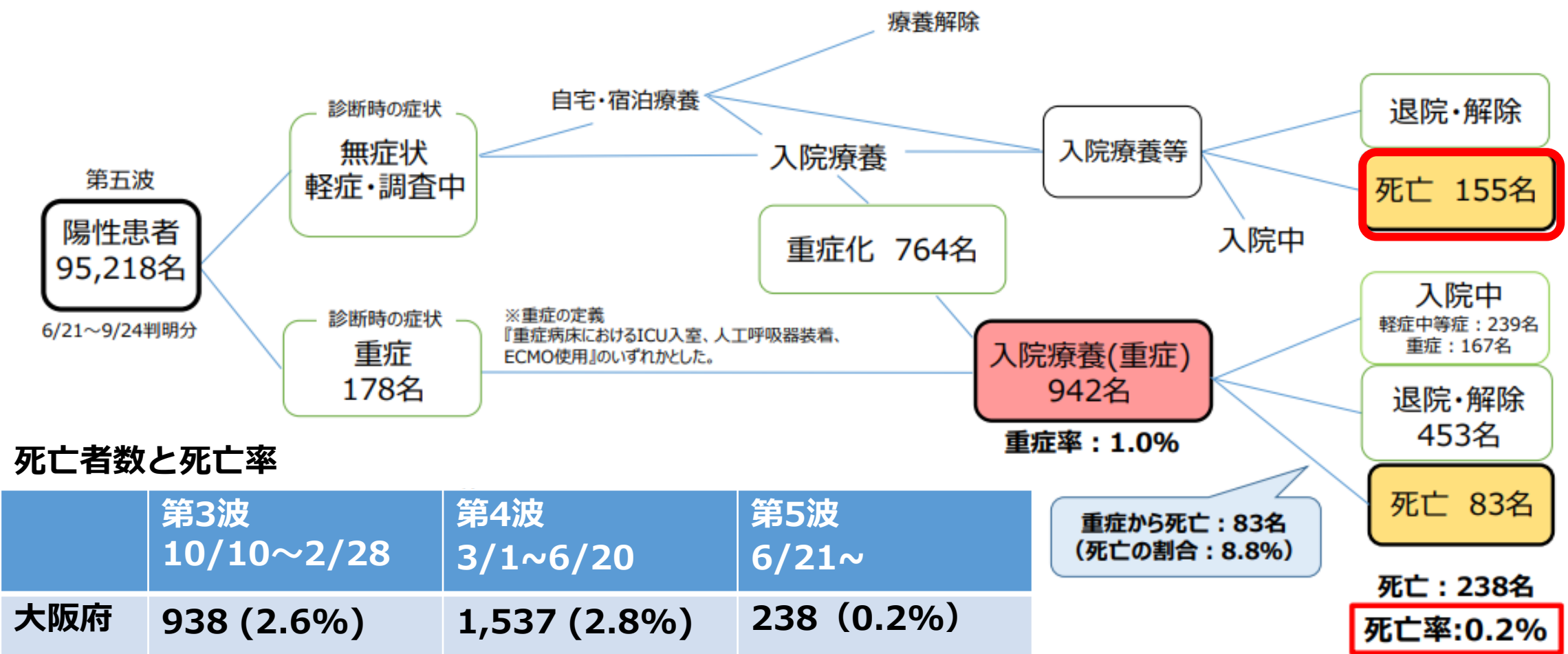
第4波の大阪での流行状況

- 重症病床使用率が100%超え
- 中等症病床もひっ迫
- 中等症病床で人工呼吸器管理
- 救急搬送できない患者さんが多発
 - ⇒在宅酸素療法、自宅でデキサメタゾン投与
 - ⇒入院待機ステーション
- 中等症からの死亡例が多発

第4波・大阪府の重症・死亡例の経過 (2021/9/24時点)



第5波・大阪府の重症・死亡例の経過 (2021/9/24時点)

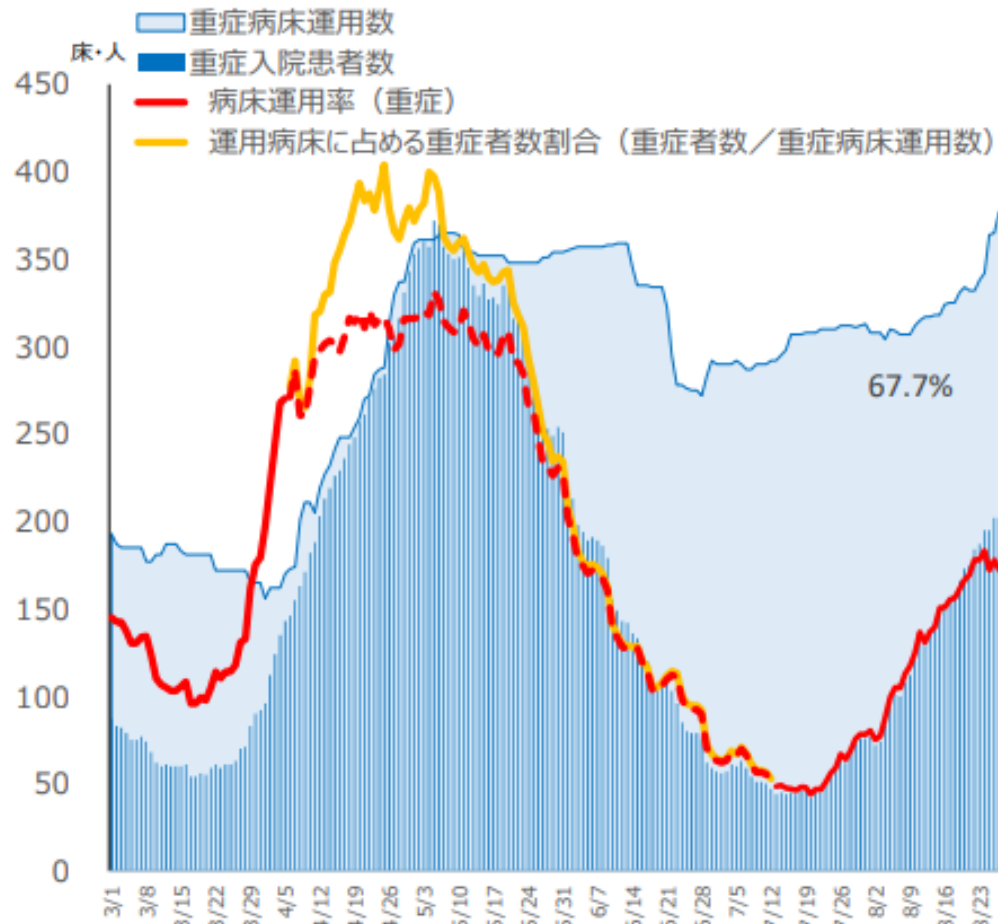


死亡者数と死亡率

	第3波 10/10~2/28	第4波 3/1~6/20	第5波 6/21~
大阪府	938 (2.6%)	1,537 (2.8%)	238 (0.2%)
全国	6,262 (1.8%)	6,510 (1.9%)	2,973 (0.3%)

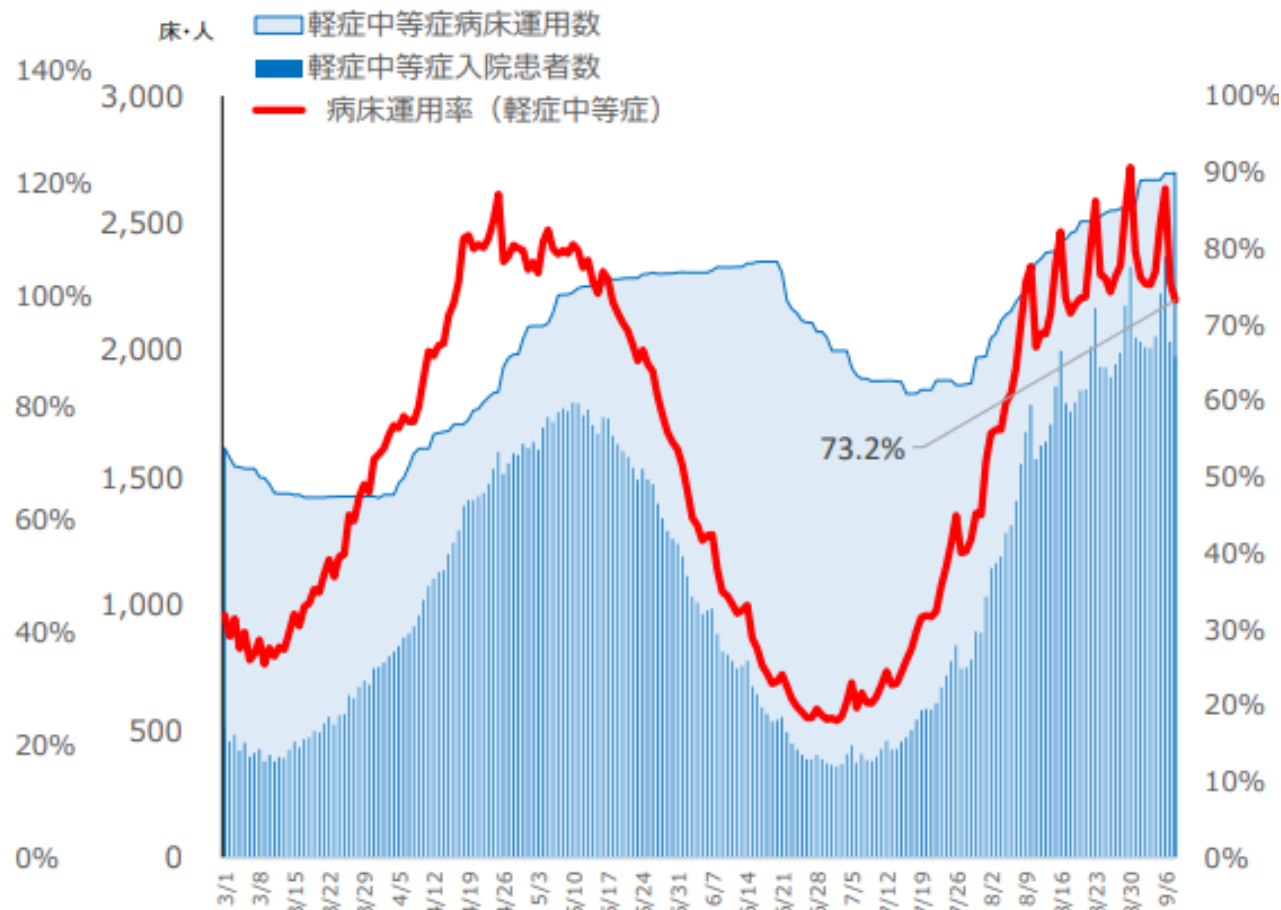
受入病床の確保・運用状況

重症病床（運用数・運用率）・重症入院患者数



4～5月にかけては運用病床数に占める重症者数割合は100%を超えた

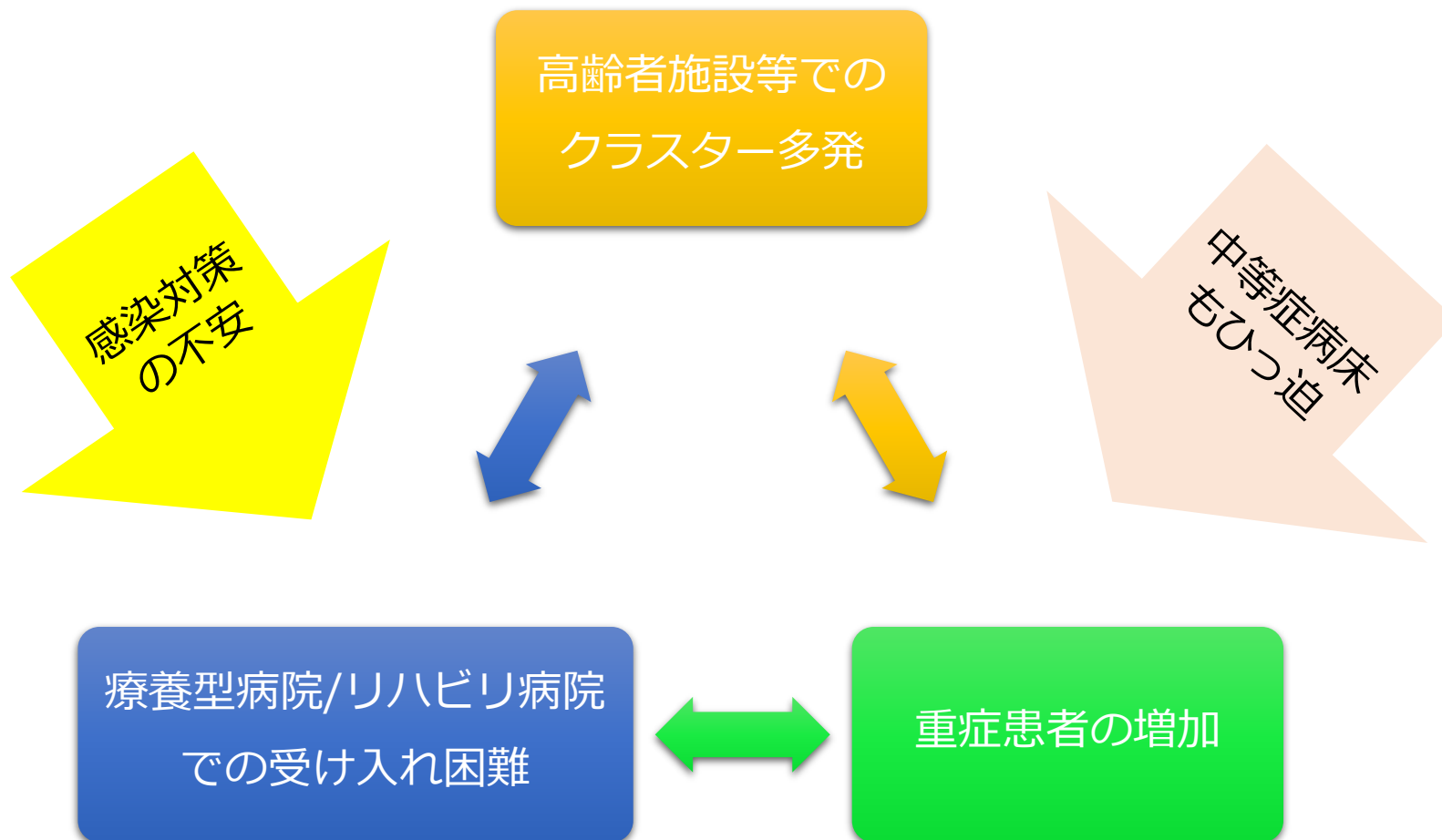
軽症中等症病床（運用数・運用率）・軽症中等症入院患者数



重症者病床が満床となったため、軽症中等症病床もひっ迫した

第58回
大阪府新型コロナウイルス
対策本部会議 2021/9/8

重症病床がひっ迫する悪循環



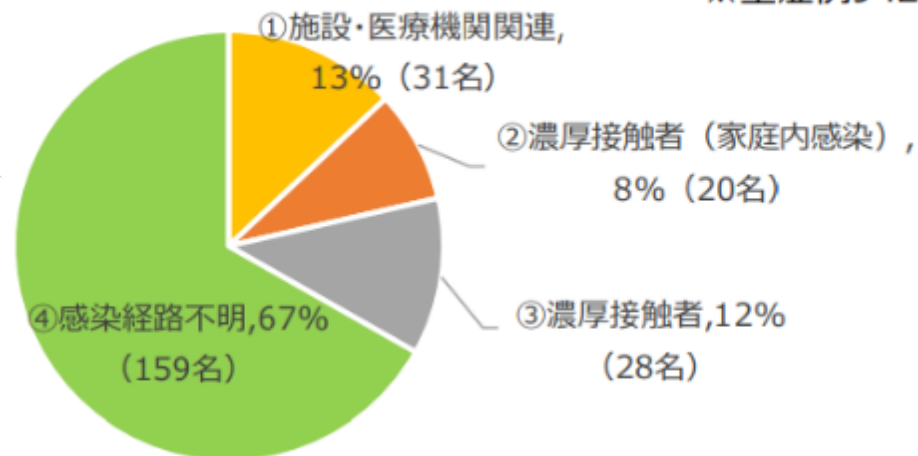
死亡例の推定感染経路

【第5波】

施設・医療機関関連が
減少、経路不明が多い

死亡例（N=238）について推定される感染経路

※重症例942例のうち、83例は死亡のため重複あり



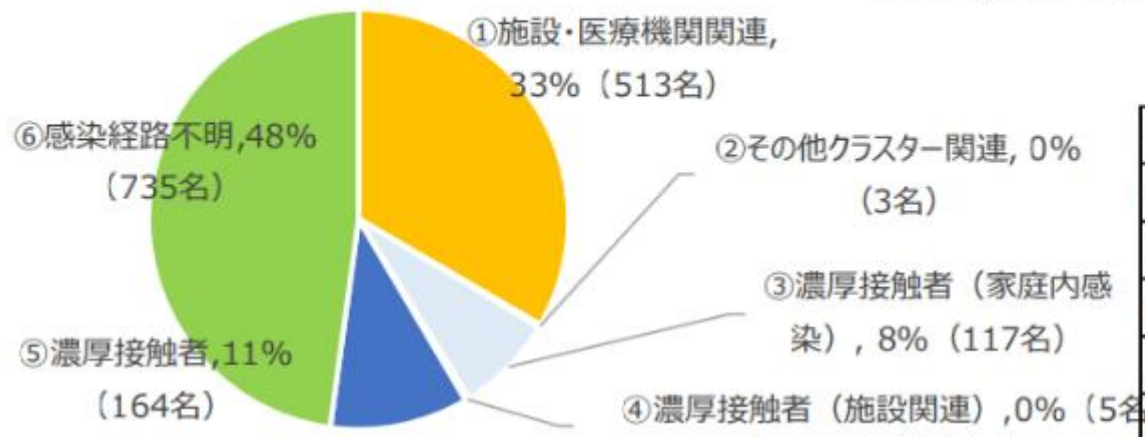
施設・医療機関関連（31名）の内訳	
医療機関関連	14
高齢者施設関連	17

【第4波】

施設、医療機関
関連が多い

死亡例（N=1,537）について推定される感染経路

※重症例1,757例のうち、399例は死亡のため重複あり



施設・医療機関関連（513名）の内訳	
医療機関関連	261
高齢者施設関連	243
障がい者施設関連	5
児童施設関連	2
福祉施設関連	2

第5波での大阪府の取り組み

- 医療型宿泊療養施設「大阪府ホテル抗体カクテルセンター」の運用
- 抗体カクテルの病院外来/診療所外来/往診での実施
- 抗体カクテルバックアップ病院の選定
- 訪問看護ステーションとの連携での自宅療養患者の健康観察
- 新型コロナ受診相談センター/後遺症受診可能医療機関
- 大規模臨時医療施設の運営



新型コロナウイルス感染症がもたらした問題

- 受診控えや活動制限による基礎疾患の悪化
- 高齢者の運動・認知機能の衰え
- 健診の受診機会喪失によるがんなどの診断の遅れ
- 経済的打撃から生じうるうつ病や自殺の増加
- 学校などの活動制限による成長・発達への影響
- 海外との交流が絶たれたことによる外国籍住民の孤立

ウィズ/ポストコロナ時代の感染症対策

★地域連携

- なぜ病床がひっ迫したのか？
- クラスターを抑えるには？

民間病院での受け入れ困難

⇒公的・大病院に偏重

救急受け入れ停止、手術制限など
感染対策困難

⇒専門家の不足、サポート体制不十分

地域全体で取り組むことが重要



ウィズ/ポストコロナ時代の地域連携

➤基礎疾患/合併症/後遺症

- ・元々の基礎疾患（糖尿病など）のコントロール
- ・脳梗塞など、血栓症への対処
- ・器質化肺炎、肺のダメージに対する在宅酸素療法など
- ・持続する後遺症への対処

➤メンタルヘルス

- ・感染不安
- ・経済状況悪化にともなうメンタル悪化
- ・子どもたちのメンタルケア

➤医療へのアクセス困難者へのアプローチ

- ・外国籍住民
- ・経済的困窮者

地域医療機関での実践
病診連携
行政など関係機関との調整